

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域のみちづくり支援事業
事業主体 (連絡先)	坂城町 (0268-82-3111)
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	4,218,131 円 (うち支援金 : 2,109,000 円)

事業内容

農道・林道については、地域の生活を支える道として地域から補修・改修の要望が多く、以前から地域住民との協働作業により、農林道整備を実施してきた。

町では、要望のあった農林道について、事業規模、内容等から地域との協働作業が可能な箇所について、設計を行い、これをもとに原材料、所要作業、必要な重機等を算出、地域へ原材料を支給するとともに、舗装作業等の施工のサポートを実施した。

- 林道太郎山線舗装工事 L=100m W=3.0m
- 林道農山線舗装工事 L=100m W=3.0m
- 農道七曲線舗装工事 L=200m W=2.4m



【舗装工事風景】

【目標・ねらい】

- ①地域に密着した道路の協働作業による整備
- ②地域協働活動の推進
- ③施工技術の継承

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

地域住民と受益者が自ら施工することで、地域の財産として愛着と責任を持ち、大切に管理していく気運の醸成が図られた。

施工に際し、ノウハウを持ったベテランから次の世代へとその技術が継承されるなど、地域の連携感がより一層育まれた。

※自己評価 【B】

【理由】

予定区間の補修・改修を完了施工も安全に行われ、地域で利用する道路を住民自ら整備することで地域の連携を深め、協働の意識を高めるねらいを達成できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も地域に必要な農林道の協働による整備を通じて地域協働活動の推進と施工技術の継承を図るため、積極的に原材料支給等の地域への支援を実施していく。

引き続き地域の要望を聞きながら、効果的な支援を図りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある